

# 発言通告書（総括表）

平成29年第1回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	桜井議員 (自民)	<p>○区政運営について</p> <p>○平成29年度予算について</p> <p>○学習指導要領について</p> <p>○千代田区商工振興基本計画について</p>	<p>○区長の区政に対する姿勢と今後の区政運営を問う</p> <p>○平成29年度当初予算の編成に当たって本区の人口の増加や近年の財政状況を踏まえた基本的な考え方について</p> <p>○近年の特別区民税収入の増をどのように分析し、平成29年度予算においてはどのように見込んでいるのか。</p> <p>○多額に積み上がった基金はいつどの様な形で区民サービスとして還元されるのか</p> <p>○現行要領と比べて次期要領はどう変わるのか</p> <p>○教育は地方行政の責任、千代田区教育委員会はどのように受け止め対応するのか</p> <p>○これらの取り組みで何が期待できるのか</p> <p>○現行計画の進捗状況と課題について</p> <p>○区内の商工業を取り巻く新たな課題とその対応策について</p> <p>○商店街振興について</p> <p>○実効性ある計画の推進について</p>	区長及び 関係理事者
2	はやお議員 (千代田)	<p>1. 区政運営について</p> <p>2. 財政運営について</p> <p>3. 児童相談所設置について</p>	<p>(1) 区議会との関係について問う。</p> <p>(2) 「千代田区から東京大改革につなげていきたい」との当選の弁について問う。</p> <p>(1) 一般会計補正予算第3号を踏まえ積み立てが生じている現状について問う。 ・予算の執行残や剰余金について等</p> <p>(2) 財政運営の考え方を問う。 ・適正な予算規模で当初予算案を取りまとめているのか等</p> <p>(1) 他区の進捗状況と児童相談所設置の課題について問う。</p> <p>(2) 区長招集挨拶の中で「区の包括的な子育て支援機能と児童相談所機能を一元的に合わせ有することを検討」とあるがその機能の役割分担のイメージについて問う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	区長、教育長 並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第1回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	木村議員 (共産)	1、共謀罪とパートナーシップ協定について  2、公共施設等総合管理方針について 3、国民健康保険制度について  4、住まいとまちづくりについて	○共謀罪は、法律に違反する行為を話し合い「合意」することを犯罪とし、処罰する。国家が市民の心の中を監視する社会になりかねない。共謀罪への見解を問う。 ○区は1月、4警察署・各種団体とパートナーシップ協定を締結した。テロの未然防止等を目的に「情報の共有」等を取りきめている。その意義は何か。人権侵害につながる危険はないか。 公共施設は住民福祉の向上のためにある。公共施設のあり方を①住民参加、②施設の長寿命化、③まちづくりの一環、等の角度から質問する。 ○17年度国保料は一人あたり7千円を超える値上げだ。「負担も限界」との区民の声が寄せられている。値上げを抑え引き下げるには一般会計からの繰り入れを増やすことが欠かせない。 ○広域化に向けた協議の内容等について ○麴町地区 地区計画について ○飯田橋駅西口地区 地区計画に関連して ○借上げ期間の終了した区民住宅居住者の状況をふまえ、改めて存続にむけた再検討を求める	区長及び 関係理事者
4	小枝議員 (声)	1、都政は音を立てて変わりつつある。果たして千代田区は、真に区民に寄り添う区政であることを区民に実感させることができるのか。  2、築地市場・豊洲移転問題から、石川区長は何を学ぶのか。  3、現在進行中の2つの公共施設建設は、透明性・公開性、効率性、合法性、将来性において疑念が残る。このまま強行してしまうのか。	小池都政になって、豊洲土地住民訴訟における東京都の姿勢が、情報公開型、責任と権限の明確化へと目に見えて変わってきた。また、昨年度区議会でも委員会集約された街路樹保存を求める陳情の取扱いを尊重し、東京都は、地元中学校において託児室を設置し、地域住民の意見を聞く会を開くなど、トップが変わることによる変化を身近に実感している。 石川区政5期目の区政運営においても、小池都政と同様、情報公開型、透明性の高い区政運営を区民に見せることができるのか。  ①（仮称）区立麴町(平河町)仮住宅について ②（仮称）外神田一丁目計画基本構想について	区長並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第1回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	寺沢議員 (紡民)	1. 公共施設整備計画について  2. 区内福祉・介護事業者の特色・特徴をアピールしてはどうか  3. 障がい者の切実なニーズに応えるために  4. 教員の負担軽減について	<p>区の10年計画であるちよだみらいプロジェクトにおいて計画通りの進捗がはかられていないものが散見される。即、取り組みを始める必要があるのではないか。</p> <p>介護保険制度は3年ごとに改定され、そのたびに保険料の上昇、利用者負担が増えている。制度仕組みは益々複雑でわかりにくい。事業者の特色を区民にアピールする機会を設ける支援をしてはどうか。</p> <p>みらいプロジェクトでも親なき後の支援が課題となっている。スピード感をもって取り組めないか。</p> <p>先生方の多忙が問題となっている。忙しさを解消するために何が必要か。</p>	区長・教育長 並びに 関係理事者
6	大串議員 (公明)	1) 5期目のスタートにあたって  2) 真の循環型社会を目指して！	<p>① 前期目標として掲げた「豊かな地域社会」は、どこまで実現できたのか。また、今期目標とすべきは何か。</p> <p>① 東京としてごみの減量にいかに取り組むかは大きな課題である。センターオブ東京としての千代田区がごみの減量に対してどのような方針で取り組んでいくかは全国の注目するところである。そこで、オリンピックまで3年となり、区長に改めて、ごみの減量に関しての基本的な考え方を問う</p> <p>② 3Rの推進について 3Rとは、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再利用（リサイクル）という優先順位のことだが、特に発生抑制と再使用の2Rは重要だ。区として2Rの推進をどう行っていくのか。</p> <p>③ 皆ですぐにできる2Rについて レジ袋はできるだけ使わないでマイバックへ ペットボトルは自主回収ルートへ リユース瓶の推奨</p> <p>④ 集団回収について</p> <p>⑤ 食品ロスの削減について</p>	区長および 関係理事者